

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第20号 平成20年10月 6日

投手は活躍！ 野手がやっちゃった・・・

成田同点タイムリー！ しかし勝利に繋がらず



10月5日岸根公園にブラッキーズを招き、オープン戦を行った。今日の敗戦は、記録に付かない打球を含めて3つのエラーが敗因と感じた。やはり打ち取った打球を如何に野手がアウトに繋げるか、無駄な進塁を許さないかが勝利への道であろう。我がチームは後攻、先発は前節完封で気を良くしているキャプテン政司、3回までランナーを出すものの、緩急の利いたピッチングで0行進を重ねた。4回表相手チームの攻撃、先頭打者をセンターフライに打ち取り1アウト、続く打者の打球は、セカンドゴロ、今日のセカンドは初セカンドの泉、バウンドを合わせながら、捕球体勢に入るも、打球はイレギュラーし、泉の頭上、この打球をセンター中富がまさかのトンネル、バッターランナーは一挙3塁へ、そして、続く打者に今日唯一の四球を献上、ランナーが1塁に進む間に我がチームに一瞬の間隙、その隙間をランナーは付き、四球で出たランナーが何と2塁へ走塁、1、2塁間のランダムプレーの間にサードランナーがホームに進入し、先制点を献上した。しかしその裏、最近1試合に1本を放っている竜が、右中間に2ベースヒットを放ち、ノーアウト2塁、絶好の同点のチャンス、しかし、後続2人が倒れ、今度は続く2打者が連続四死球を選び、2アウト満塁、そしてバッターは今日先発の成田、1打席目は、空振り三振に終わっただけに、ベンチも薄妙な空気の中、彼のバッティングを見守った。その初球、振ったバットにボールが当たり、その打球がセンター前に落ち、同点タイムリーとなった。成田曰く「打ちやすいボールが来たので、バットに当たれ！という気持ちで振った。ヒットが打てて嬉しかった」というコメントを出す位嬉しかったことだろう！シーズンゲームに開きが出たのは最終回、先頭打者を2番手中富が初四球を出し、後続2打者に連続ヒット、場面はノーアウト満塁、続く打者をサードゴロに打ち取ったかに見えたが、再三攻守を見せた山田が、ホームへまさかの暴投、続く打者は三遊間を抜く打球、深沢が止めたものの、更に1点、続く打者には、レフトオーバー2ベースでゲーム有り、その裏に2点を返したが、万事休す、勝率5割はお預けとなった。確かに負けた。ただ、今日の試合は、最後までムードが良かった。この良かったムードは残し、気持ち新たに次節の公式戦を勝利しよう！我がチームは成せばなる、そんなチームだから・・・